

# News Release

2022年11月22日

Buss AG

株式会社ブッス・ジャパン

## マルチ対応連続混練機 COMPEO シリーズに 小型テスト機 COMPEO LAB をラインアップ

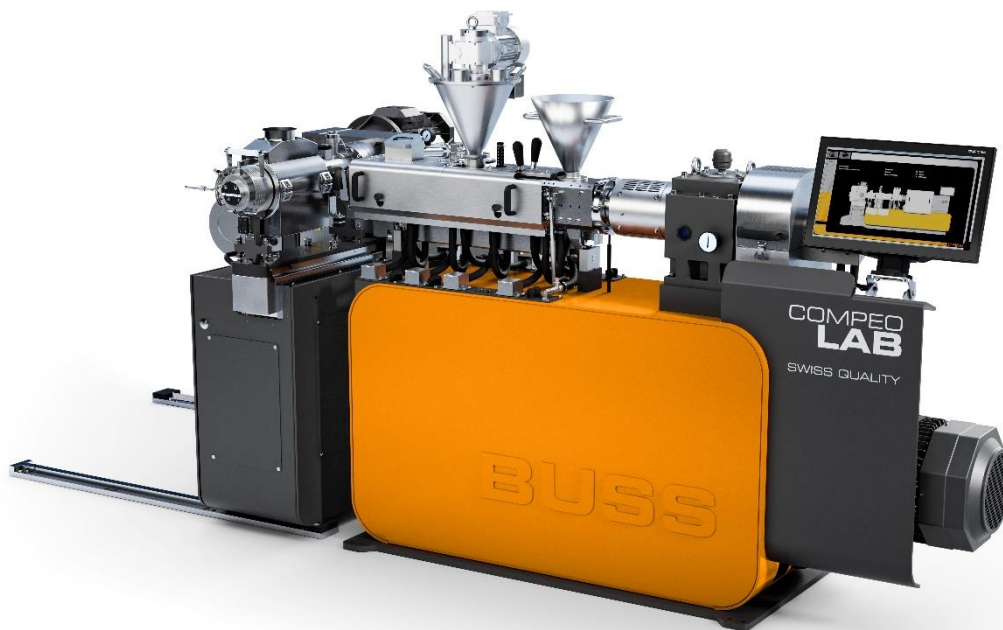


図1. COMPEO LAB 外観

Buss AG（本社：スイス、以下ブッス）及び株式会社ブッス・ジャパンは、あらゆる混練ニーズに対応できるマルチ対応連続混練機 COMPEO（コンペオ）シリーズに、小型で使い勝手の良い COMPEO LAB を新たにラインアップしました。

ブッスは、1946年にユニークな単軸往復動混練押出機であるブッス・ニーダーの開発製造を開始し、これまで70年以上にわたりプラスチック業界、フィルム業界、塗料業界、食品業界などにおける混練工程の生産性向上、品質向上に貢献してきました。ブッス・ニーダー技術は、混練部において適度なそして均一なせん断を与えることができるという特徴があり、あらゆる種類の温度とせん断に敏感な材料の混練の為の最良の選択肢として確立されてきました。

単軸スクリータイプของ布斯・ニーダーは、混合と混練を行うスクリー軸が回転と往復動を同時に行うという非常にユニークな動作原理により、非常に優れた混合効果を示します。前後運動するスクリー軸は、製品材料を回転ごとに複数回分割、再合、反転を与えることにより、軸方向に向かって材料を確実に混練していきます。

COMPEO は、過去の製品シリーズが持っていた布斯・ニーダー技術を全て取り入れています。さらに溶融温度 400°C までのスーパーエンブラやゴム材料、そして最新のバイオプラスチックなど幅広く対応し、極めて柔軟なプロセス設定が可能となっています。特に新しいプロセス加工部においては、スクリーの羽根の枚数を 2 枚、3 枚、4 枚、そして 6 枚まで柔軟に組み合わせることが可能となり、温度調整やフィラー高充填の難しい配合やこれまでにない新しいアプリケーションへの対応力を向上させました。

このような COMPEO シリーズと同じ機能・仕様を持つ COMPEO LAB は、小型ながらあらゆるアプリケーションに対応しますので、最大 50~100kg/h の吐出量により効率的に試作・テストが可能になります。布斯・ニーダーはその考えられた構造設計により、同じスクリー構成及びスクリー回転速度であれば、サイズの違う機械でも同じせん断力を与えることが可能ですので、この COMPEO LAB をパイロットラインとして導入することで大型生産機へのスケールアップも簡単に行う事が可能になります。

布斯は新しい分野に対してもお客様の要求仕様に従い、スクリー構成やそれに付随する混練技術を最適化しようサポート致します。また高い技術力と素早い対応力のあるカスタマーサービスが、お客様の生産性向上、製品の品質向上に随時貢献してまいります。

#### 【COMPEO LAB 基本仕様】

スクリー有効長	18 または 25 L/D
スクリー径	45.5 mm
スクリー回転速度	最大 600 rpm
吐出量範囲	50~100kg/h
最高設定温度	400°C

#### 【お客様お問い合わせ先】

〒135-0034 東京都江東区永代 2-31-15 ベルウッド永代 6F  
株式会社ブッス・ジャパン  
TEL: 03-5646-7611 FAX: 03-5646-7612  
E-mail: info.jp@busscorp.com  
URL: <http://busscorp.com>